

信頼と誇りと

恵み野病院だより



2013年2月22日 第19号

ごあいさつ

院長 貝嶋 光信

1年ぶりの恵み野病院だより刊行にあたり、ご挨拶申し上げます。恵み野病院は1986年(昭和61年)5月にこの地恵み野に開設されました。開設当時医師は5名、看護師38名、総職員数73名でスタート致しました。爾来27年間、地域の皆様の信頼を少しずつ獲得しながら病院は成長し、今では総医師数28名、総看護師数202名、総職員数は397名を数える道内でもその名の知られた中堅クラスの病院に成長しました。病床(ベット)数や医師数では道内で50位(DPC病院総数102のうち)とちょうど中間の規模に過ぎませんが、個々の疾患別入院件数で比較すると別表にお示ししましたように多くの道内トップクラスの症例数を誇る治療実績を上げています。現在我が国が国を挙げて取り組むべきと定めているのが、「がん」、「心臓病」、「脳血管疾患」、「糖尿病」の4大疾患ですが、恵み野病院はこれらの全てに全力を傾けて診療に当たっています。

開院以来の外来通院延べ患者さんの人数は340万人を越え、入院延べ患者さんの人数は160万人を越えます。これからも地域の皆様の健康をお支えすることを第一義として職員一同全力を傾けることをお約束致します。

種類	DPCコードに基づく病名	件数	道内順位
神経系疾患	脳梗塞	97	31
	水頭症	40	1
	てんかん	37	22
循環器系疾患	急性心筋梗塞,再発性心筋梗塞	39	18
	狭心症,慢性虚血性心疾患	475	12
	弁膜症	13	21
消化器系疾患 肝臓・胆管・膵臓疾患	胃の悪性腫瘍	102	32
	小腸大腸の良性疾患 (良性腫瘍を含む)	380	7
	虫垂炎	58	9
	胆嚢疾患(胆嚢結石など)	27	9
内分泌・栄養・ 代謝に関する疾患	2型糖尿病 (糖尿病性外アトピーを除く)	84	15
腎・尿路系疾患及び 男性生殖器系疾患	膀胱腫瘍	61	25
	前立腺肥大症等	21	16
	水腎症(その他)	29	8



病院口コミ検索サイト caloo.jp 病気別治療実績(DPCコードに基づく)より一部抜粋
平成23年度退院患者の統計 道内順位はDPC病院内の順位です。

<http://caloo.jp/dpc/hospital/147>



「おしっこの悩み」ありませんか？

泌尿器科 井内 裕満

皆さん、こんにちは。恵み野病院泌尿器科の井内裕満です。私たち泌尿器科医は、「おしっこ」、すなわち尿に関連した症状や病気の相談を担当しています。

皆さんは「おしっこの悩み」をどうされていますか。年のせいだからとあきらめている、薬局で相談し薬を買ってみる、思い切って病院に相談してみるなどでしょうか。日本泌尿器科学会で行った頻尿や尿もれに関する調査では、男性は36%、女性では8%しか病院に相談していないことがわかっています。多くの方が、なかなか病院に相談しづらくこっそり悩んでいることわかりました。「こんなことで相談して良いのだろうか」と思われる方もおられると思いますので、次のような症状に心当たりのある方は、一度病院で相談することをおすすめします。

- ・ スッキリ終われず、残尿感がある
- ・ 何度もトイレに行きたくなる
- ・ 尿が出るまでに時間がかかる
- ・ 突然トイレに行きたくなり間に合わない
- ・ 笑った時に、漏らしてしまう
- ・ 尿の色が赤くなった

私たちが相談を受けた際、まず尿の性状（黄色、透明、赤い、茶色い）を拝見します。次に、いつからその症状があったか、改善、悪化しているか、その他の症状を伺います。最後に、これまでにかった病気や治療している病気、飲み薬について確認します。その結果、急性膀胱炎や尿管結石、過活動膀胱、前立腺肥大症、腹圧性尿失禁が代表的な病気です。治療で良くなる方も結構おられますので、ぜひご相談ください。もちろん、すべての方が良くなるわけではありません。特に注意しているのは、これらの病気と似た症状が起こる原因です。たとえば、脱水にならないように水（お茶）をたくさん飲んで多尿になっている方もおられます。そのような方には、お家で飲んだ水の量と尿量をカップで計ると自分でも信じられないくらい飲水量が多くなっていることがわかり、少し飲水量を調節するとすぐに良くなります。確かに脱水になっていませんが、体内の過剰な水分が尿として排出されていることが原因でした。また、糖尿病などの他の病気でのどが渇き飲水量が多量となって尿量が多くなっていた方もおられます。初診の際に時間をかけてじっくりお話を伺うことがとても大切なことがわかります。

最後に、何の症状もないのに住民健診で偶然大きな病気が見つかることもあります。「どこも痛くないのに・・・」とひどく腹を立てられる方もおられます

そんな時、「病気が悪くなる前に見つかって良かったですね」とチャンスをつかんだこととお話しします。おそらく半年から1年放っておくと症状は明らかになり病気は見つかったでしょうが、治すには何倍も苦労していたと思います。このように人間ドックや住民健診を通してご自分の健康の興味を持つことはとても大切です。もちろん、これらの検査で、すべての病気が見つかるわけではありません。しかし、「チャンス」をつかむには工夫が必要だと思います。当院でも人間ドックを受けることができますのでご相談ください。

そうして、健康な毎日を送ることができれば何よりだと思います。



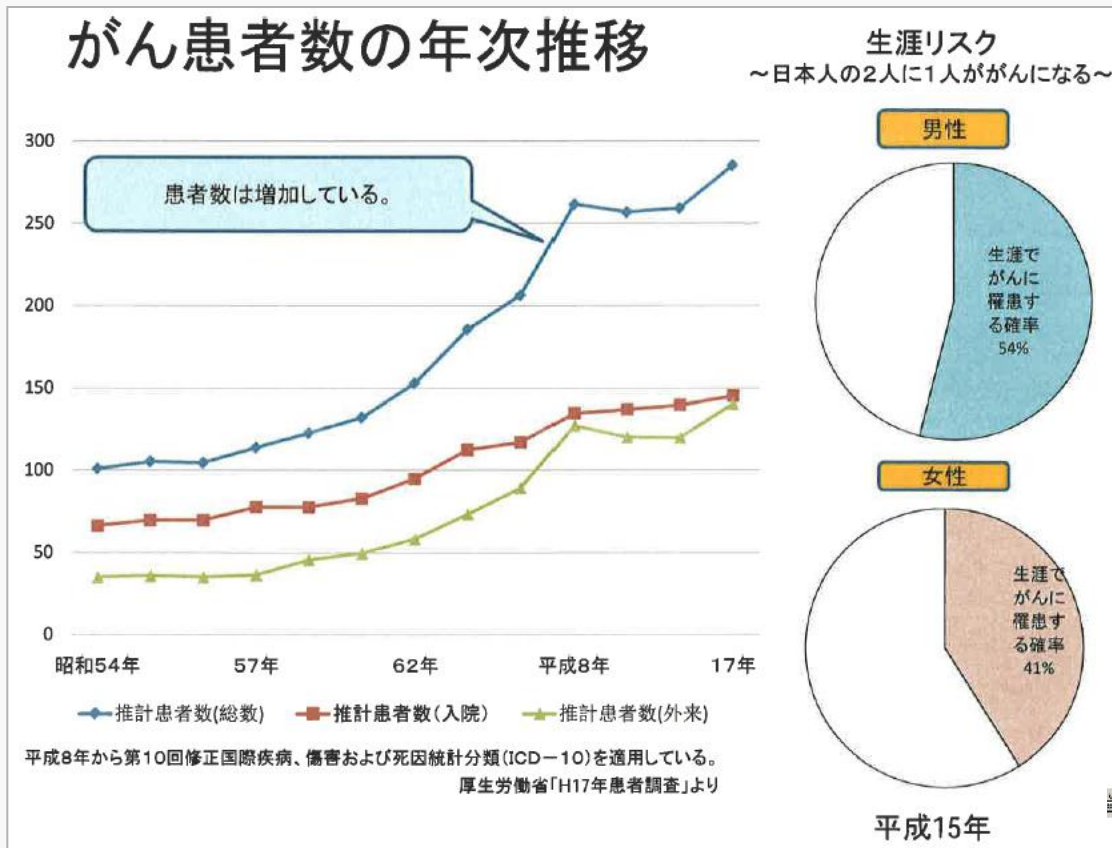
H24.9.30 第30回恵庭マラソン大会

恵み野病院マラソンクラブの仲間たち。
ゼッケン171：井内医師。

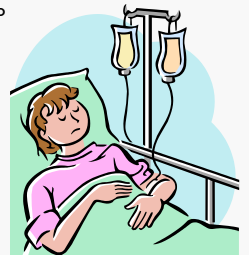


外来化学療法室が拡充されました

がんを患う患者さんは下記「がん患者数の年次推移(厚生労働省ホームページより抜粋)」のとおり年々増加しており、当院でも化学療法を受ける方が増えております。



より良い環境で治療ができるように4床から10床へ増床工事を行いました。
患者様ならびに来院者の皆様には工事期間中大変ご迷惑をお掛けしました。



ヘルパーステーション恵み野「あい」

責任者 樋口 秋緒

在宅療養においては、医療と介護と福祉が車の両輪のように、協力しながらチームを組んで支えあうことが大切です。

入院するまで出来ていたことが出来なくなってしまった状態で退院して、いつもやっていた家事や着替えに時間がかかり、人の手が必要になるなど、ちょっと体調を崩すだけでも、日常生活がその人らしく、いつものように流れていくことが困難になります。

その「日常生活」を支える事業所が「あい」です。

ヘルパーステーション「あい」は訪問看護室「はあと」とスクラムを組んで、ナースと介護福祉士が共に情報交換をしあい、日々在宅療養のご支援に力を注いでいます。

ヘルパーステーション恵み野「あい」は平成24年10月5日に開設しました。まだ駆け出しですが、医療ニーズが高い在宅療養の方にも対応できるよう、スピーディに対応できるように取り組んでおります。恵み野病院の利用者さんに限らず、恵庭・千歳・北広島市の皆さんに利用していただけるようになっておりますので、今後とも宜しくお願いします。



サービス提供責任者

介護福祉士

岩本 志乃美(いわもと ののみ)

スタッフ

介護福祉士

嘉屋 直子(かや なおこ)

介護福祉士

上野 いずみ(うえの いずみ)

出「あい」を大切に

「あい」じょうのこもった

サービスでふれ「あい」

「あい」ディアを豊富に

支援させていただきます

第17回 恵み野地区むつみ会健康教室と交流会に参加しました

平成25年2月6日に恵み野憩いの家で実施された健康教室と交流会に参加しました。

当日、参加者は、130名を越えるむつみ会会員と病院からは、院長をはじめ、11名の参加をしました。

健康教室においては、当院循環器内科 牧口展子先生による「心・血管病の診断・治療」と地域医療連携室 松井 靖 室長から、「知っているともしかして役に立つ病院の話」の2題演題が発表され、活発な質問がされていました。健康についての、関心は深いものと思われました。



病院敷地内禁煙のお知らせ

平成20年7月1日より、当院の病院建物内および駐車場、通路を含む敷地内での喫煙は禁止となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

